

暮らしの劇場

設計主旨

人々の中にあるコミュニティはどのようなものがあるだろうか。人と人から生まれるコミュニティはもちろん、人とモノ、モノとモノのコミュニティ、文化に対するコミュニティなどがあるのではないだろうか。少子高齢化、若者の都市流出の背景から市民が日常的に利用する商業施設（書店）、非日常として定期的に変化していくイベントスペース、余白から生まれる様々な広場を計画する。磐田の文化の中心づくり、他の文化の流入地、拠点となることが期待されるだろう。

建物内を随所に設けられたスロープや階段によって上り、下り、回遊していくことで書店の中をめぐる。イベントスペースでは長期にわたってイベントが行われる。そのため、そこでイベントを行うアーティストやデザイナー、ショッパーなどを宿泊させる「アーティスト・イン・レジデンス」の試みがあり中間階、最上階では住戸も用意される。地域住民と彼らとのコミュニティを生み出すことも必要ではないだろうか。

日常的に書店を利用する人、イベントに来て書店を回る人、用もなくうろろろする人。様々な人が混在する中で街を散歩するように人々の日常の中の特別をデザインするよう、ここにきて新たな興味、知識を手に入れ、実践できる、同じコミュニティに興味を持った人々が集う「コミュニティマーケット」を展開する。

設計データ

敷地面積 16445m²

建築面積 3518.57m²

延べ床面積 5870.83m²

1階面積 3081m²

2階面積 2025.66m²

3階面積 326m²

共用廊下 437.57m²

最高高さ 15000 mm

構造 鉄筋コンクリート造 鉄骨造

階数 地上3階 地下1階

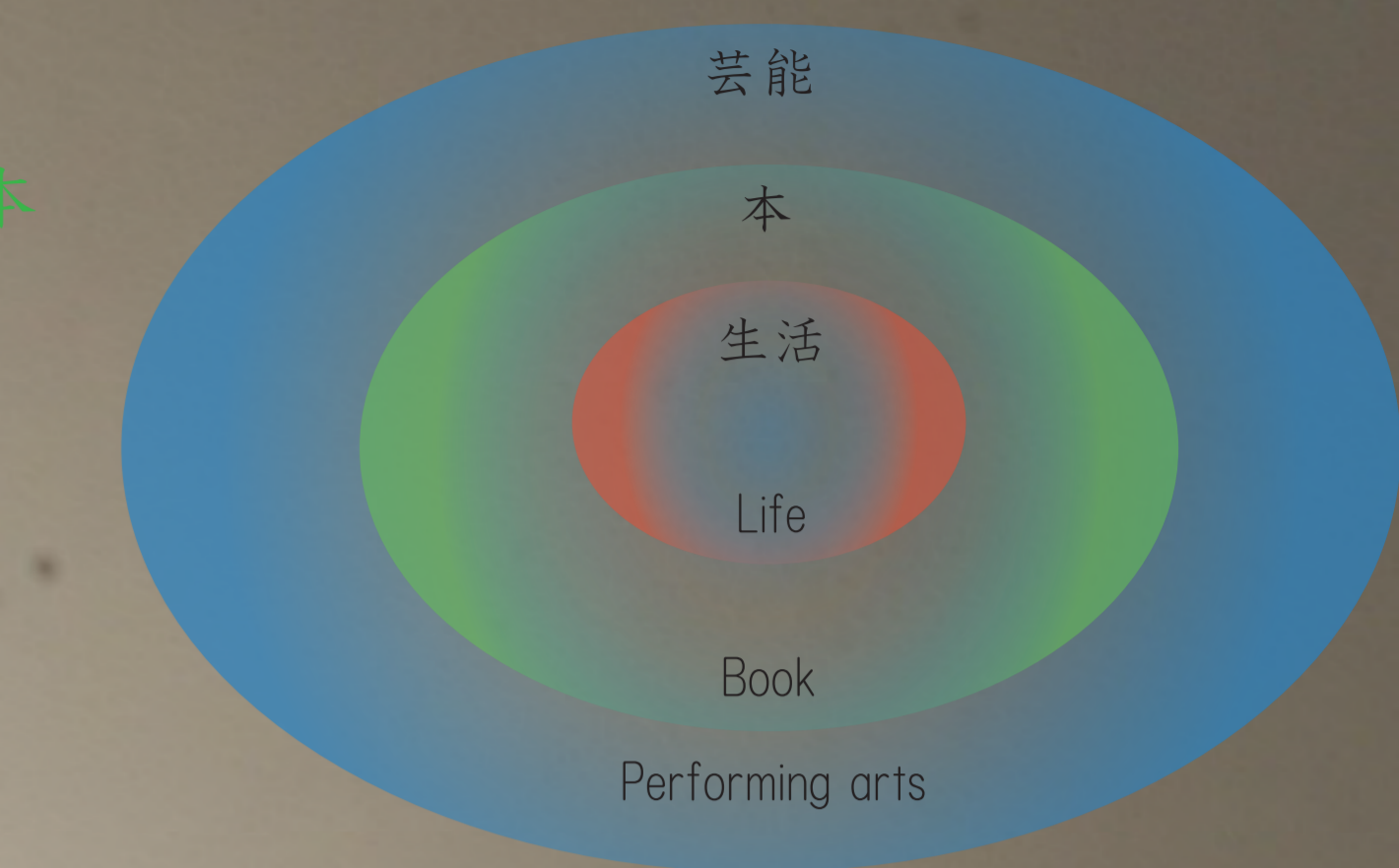
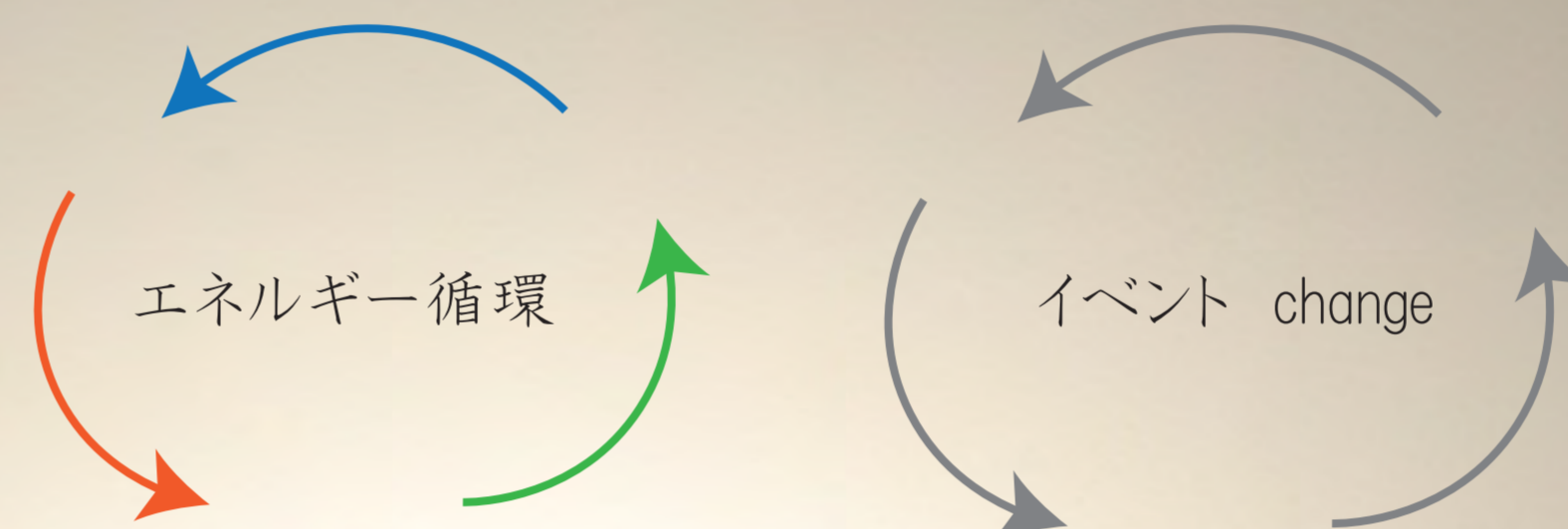
様々なコミュニティ

ヒト ← × — モノ 文化、芸術、店、etc... 本 → 芸能

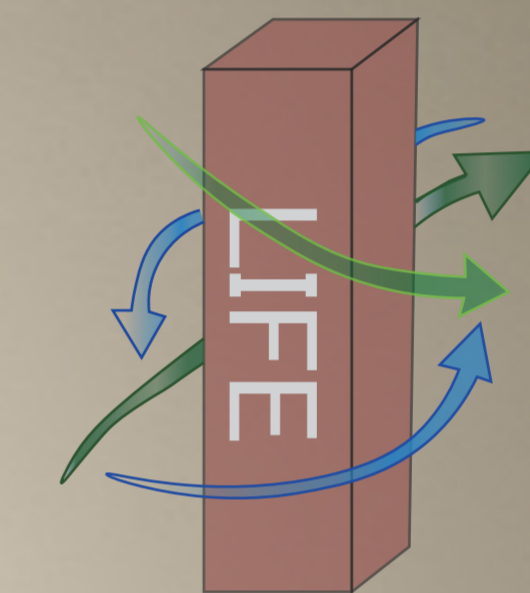
ヒト → モノ
ヒト → 芸能
一方通行でコミュニティが発生していない

ヒト ↔ 本 ↔ 芸能

本がそれぞれの間を担うコミュニティの発生



生活への絡まり



カイトン

